

3月定例会

平成29年度一般会計予算成立

歳入歳出 139億4,000万円に

会 計 名		予 算 額	前年度比較(%)
一 般 会 計		139億 4,000万円	△5.9
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	36億 2,450万円	6.3
	後 期 高 齢 者 医 療	3億 1,510万円	6.0
	農 業 者 労 働 災 害 共 済	500万円	0.0
	水 道 事 業	10億 559万円	△4.0
	工 業 用 水 道 事 業	1,101万円	△13.6
	公 共 下 水 道 事 業	23億 7,009万円	△5.7
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億 1,568万円	9.9
芦原温泉上水道財産区水道事業		2億 324万円	△9.1
合 計		215億 9,021万円	△3.8

＜地方債及び基金・積立金の状況(平成29年3月末見込)＞

地方債残高 (市の借金)	
一般会計	184億 9,849万円
公共下水道会計	110億 3,706万円
水道事業会計	15億 7,596万円
農業集落排水事業会計	3億 8,137万円
合 計	314億 9,288万円

市民1人当りの借金 約109万5千円

※ 1人当たりの借金・貯金の算定基準
平成29.2.1現在の人口 28,770人

基金・積立金残高 (市の貯金)	
財政調整基金	36億 3,600万円
地域振興基金	13億 0円
その他	9億 9,740万円
※一般会計所管 計	59億 3,340万円
国民健康保険基金	2億 3,145万円
農業者労働災害共済基金	3,341万円
※特別会計所管 計	2億 6,486万円
合 計	61億 9,826万円

市民1人当りの貯金 約21万6千円

平成29年3月定例会が2月27日から3月24日までの会期で開催されました。

今定例会では、専決処分の承認を求めるもの1議案、平成28年度補正予算及び平成29年度当初予算に関するもの16議案、条例の改正等に関するもの6議案、市道路線の認定等に関するもの2議案、公の施設の指定管理者の指定に関するもの2議案、人事に関するもの5議案の計32議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

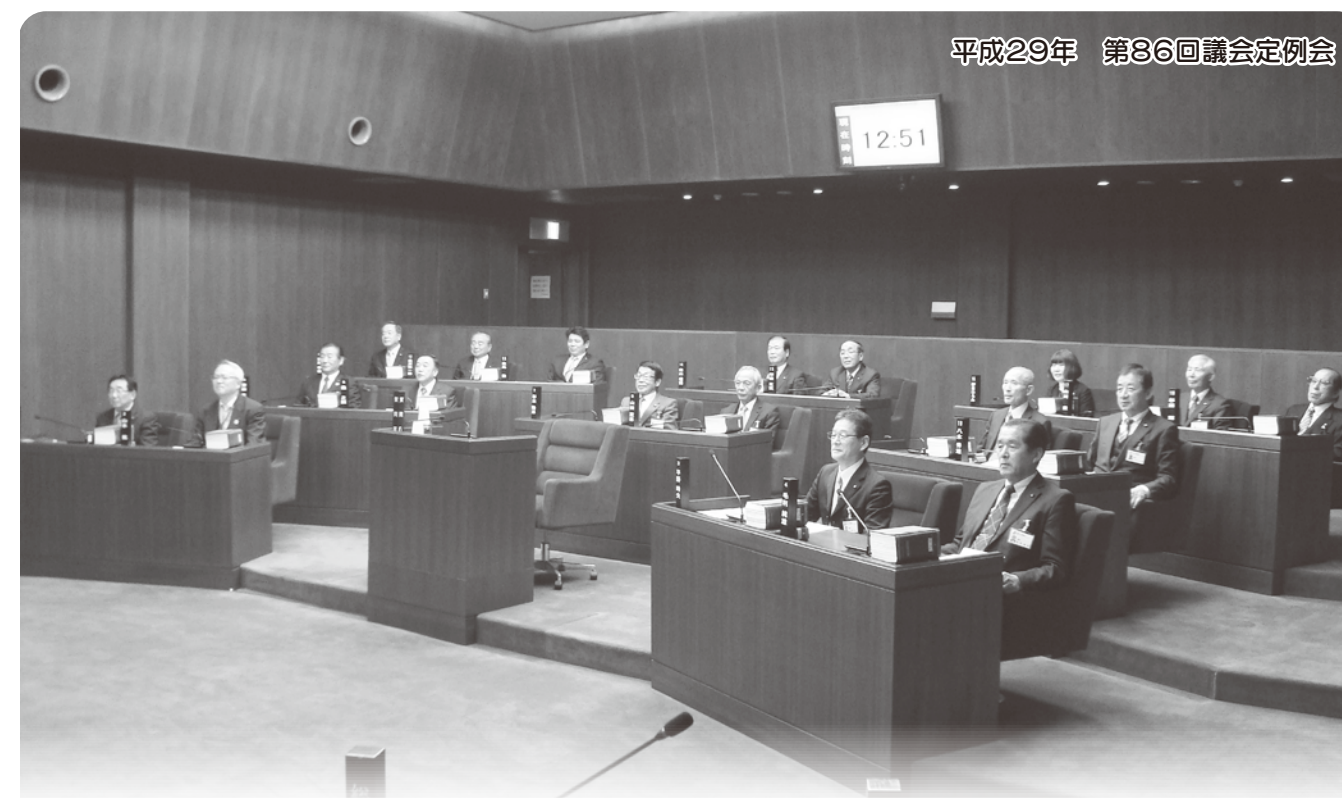
なお、今回は9名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

その他、議員発議により条例の改正1件、意見書1件を可決しました。

3月定例会

平成28年度一般会計補正予算(第6号)

2億8,438万1千円を増額



平成29年 第86回議会定例会

- 平成28年度一般会計予算総額は158億1,558万円に
- 老人憩いの家「百寿苑」を廃止
- あわら温泉湯のまち広場 あわらし観光協会を指定管理者に指定
- 金津創作の森 「金津創作の森財団」を指定管理者に指定
- あわらし教育委員会委員 玉川 洋一 氏の任命に同意
- 人権擁護委員 有馬 ひとみ 氏、宮崎 絹子 氏、下家 茂 氏、青木 直美 氏の推薦に同意

議会日誌 おもな会議のみ掲載	
1月4日	広報編集特別委員会
24日	全員協議会
	管内視察(中部工業団地)
2月16日	環境対策調査特別委員会
20日	議会運営委員会
	全員協議会
23日	議会活性化特別委員会
27日	第86回議会定例会 開会
3月7日	第86回議会定例会 一般質問
	広報編集特別委員会
8日	総務文教常任委員会
9日	総務文教常任委員会
10日	総務文教常任委員会
13日	厚生経済常任委員会
14日	厚生経済常任委員会
17日	厚生経済常任委員会
23日	議会運営委員会
24日	全員協議会
	第86回議会定例会 閉会
29日	広報編集特別委員会

総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成28年度
一般会計補正予算

■監理課

土地売却収入
181万7千円

委員 土地売り払い収入は、どこの土地の売却か。理事者 集落内にある法定外公共物の赤道（あかみち）を売ったものです。

■教育総務課

中学校一般経費に係る臨時職員賃金
672万7千円減額

委員 臨時職員を採用しなかった理由は何か。理事者 両中学校とも市費の講師を配置して手厚い少人数での指導を心掛けています。

しかし、県の講師登録をしている者が非常に少なく、学校が望む教科の

免許を持った講師がみつからなかったため、不採用としました。

平成29年度
一般会計予算

■総務課

防災経費
1千627万7千円

委員 自主防災組織数はどれだけの数か。

また、独自に防災訓練をしているところはどれだけの数か。

理事者 自主防災組織は128区のうち99区にあり、組織率は77.3%、人口の84.3%をカバーしています。

防災訓練を実施しているのは約50区です。

委員 組織はつくったが、自主的に機能していない区が見受けられる。そのことについての指導や取

り組みはしているのか。理事者 自主防災組織の訓練に対する取り組みについて、防災出前講習により自主防災組織における訓練の重要性を説明しています。なお、変更の届出が提出されるタイミングで訓練の実施を依頼しています。

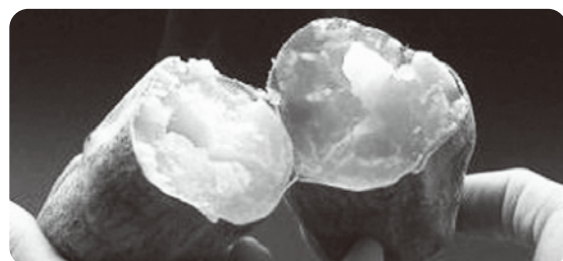
■政策課

駅周辺賑わい創出
事業委託料
1千150万円

委員 市はどういうことをデザインナーに依頼しているのか。理事者 昨年11月27日の市民投票により、駅周辺の在り方を市民に選んでもらいました。それを平成29年度からは具体的に絵にしていくな作業を行っていきま



防災訓練



返礼品の一例「とみつ金時」

ブランドサイト
運営委託料
300万円

委員 こと契約するか。

理事者 現在、ロゴマーク作成を進めており、全国公募により561点の応募がありました。これを基にブランドサイトの立ち上げを考えており、随意契約としたい。

■監理課

研修バス運転業務委託料
1千448万円

委員 運転手を雇用することは考えていないのか。また、年間契約となるのか。

理事者 現時点では、運転技能を有した者が見つからないので、時間単位の契約となります。

■教育総務課

芦原中学校
グラウンド改修
4千500万円

委員 あわら中学校のグラウンド改修はどのように行うのか。

理事者 本年度、芝生の部分は現状のままとし、表面の盛土やフェンスの張替えを行います。

金津東小トイレ
改修実施設計
270万円

委員 金津東小のトイレ改修の着工はいつか。理事者 本年6月に県へ



金津東小学校

建築計画を提出し、着工は平成30年度の見込みです。

給食用原材料費
1億1千250万円

委員 学校給食の原材料調達はどうしているのか。

理事者 できるだけ安くするよう、食材ごとに見積もり合わせを行っています。

また、地場産の野菜をできるだけ利用するよう、6月と11月を「地産地消推進月間」とし、JAなどと協議して取り組んでいます。



藤野厳九郎記念館

国際交流派遣事業
771万円

委員 国際交流に派遣する生徒の選考はどのようにしているのか。

経費の7割は保護者の負担であり、経済的に行きたくても行けない生徒もいるのではないかと

理事者 金津・芦原両中学校の生徒に対して同じ基準で試験及び面接を行って決めています。両校の割合とか性別とかは考慮していませんので、バラつきはあります。

参加者は「すばらしい経験になった」と言っており、教育的効果は大きいと考えていますが、保護者の都合で行けない生徒はいます。

■文化学習課

放課後子供プラン推進事業（子ども教室）に係る児童支援員賃金
249万4千円

委員 児童支援員の資格や賃金はどのようになっているのか。

理事者 現在、子ども教室を中央公民館と湯のまち公民館で開催しています。

企画・運営する職員は月給としていますが、その他の支援員は時給としています。

資格については、教員、保育士、社会福祉士の資格保持者としています。

■スポーツ課

体育協会活動事業補助金
712万2千円

委員 体育協会の加盟人数が年々増えているが、補助金の配分はどうなっているのか。

理事者 活動資金の振り分けは体育協会で行っており、会員数や活動回数等によって変動します。

■国体推進課



日本カヌー選手権大会

カヌー普及推進事業
297万8千円

委員 カヌー仮設コース整備はいつから行い、いつまで設置しておくのか。

理事者 カヌー仮設コースの整備は、7月から行いますが、漁業権の問題もあり、プレ大会後は撤去し、本大会には改めて設置します。



金津創作の森 アートコア

公の施設の指定管理者の指定について
(金津創作の森)

金津創作の森の管理者として5年間、「公益財団法人金津創作の森」を指定しました。

厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成28年度
一般会計補正予算

■生活環境課

デマンド交通
運行事業補助金
230万7千円財源更正

委員 利用者が数が増加しているにもかかわらず、補助金が減額になり、財源更正したのはなぜか。

理事者 当初の利用見込み数より減少したことに伴って、補助金が減額となったことによるものです。

■福祉課

生活保護給付事業
2千万円減額

委員 生活保護者に対して、就労支援することで保護費が減少した。減少した生活保護者はどれだけか。

理事者 平成28年度中に4世帯、14名の生活保護者が減少しました。

■農林水産課

農地集積・集約化
対策事業
1千877万1千円増額

委員 機構集積協力は税法上、一時所得となり課税される。国に協力することにに対し課税されるのはどういふことか。

理事者 本協力金について、税法上は農業所得又は雑所得の扱いとなり、税務署の指示に従うもの

です。なお、協力を支払う際に処理の仕方を案内しています。

■観光商工課

古屋石塚テクノパーク
に隣接する農地に
係る公有財産購入費
179万3千円減額

委員 当初購入予定の面積が減った理由は。

理事者 当初必要とした土地は2千㎡でしたが、土地所有者から家庭菜園を残すよう強い要望があり、それを除いた面積1千806㎡を購入しました。



古屋石塚テクノパーク

■建設課

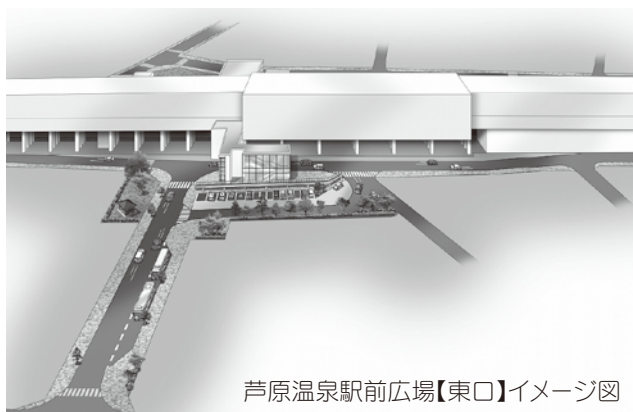
屋外広告物
景観改善支援事業
644万6千円減額

委員 県の補助金は平成30年8月31日までとなり、期間が1年半しかない。どういった進め方をして

いるのか。

理事者 事業者に対して、補助金を活用した撤去又は改修の依頼を通知し、同時にいつ頃の撤去を希望するのかのアンケート調査も実施しています。

その結果を勘案しながら計画を立てて、市としても個別に対応していきたいです。



芦原温泉駅前広場【東口】イメージ図

■新幹線推進課

芦原温泉駅周辺整備
事業の繰越明許費
1億3千278万4千円

委員 東口広場の土地の買収は進んでいるのか。

理事者 買収の交渉中であり、現時点でメイン広場における買収済みの用地はありません。

平成28年度
国民健康保険特別
会計補正予算

委員 都会から転入した方から、あわら市の保険税が高い。なぜ資産割があるのかということを知りたい。県内各市町に資産割があるのか。また、保険者が県に移管した場合の保険税率はどうなるのか。

理事者 福井市など都市部であるほど資産割は低くなりますが、県内すべての市町に資産割があります。また、平成30年度から保険者は県となり、平成29年度は保険税率の改定を慎重に検討する必要があります。

平成28年度
芦原温泉上水道財
産区水道事業会計
補正予算ペットボトル水
販売収益
89万円減額

ペットボトル水の売り上げを伸ばすため、旅館での販売など、工夫を凝らすよう意見がありました。

平成29年度
一般会計予算

■生活環境課

公害対策経費
394万3千円

委員 前年度比較9万3千円の増額理由は何か。

理事者 カラス檻について、既設2基に加え、新たに



特定空き家の例

委員 補助金の目的は。理事者 建物は個人財産であり、その処分は個人自らが行うべきものです。特定空き家に認定された建物に対して積極的に除去を促すために補助金を設けます。



移動式カラス檻

特定空き家等
除去支援補助金
50万円

■福祉課

手話通訳者の賃金
208万7千円

委員 あわら市に手話通訳者は何人いるのか。また、資格は必要なのか。

理事者 手話に関する資格は手話通訳士及び手話通訳者があります。手話通訳者は、あわら市にも1人いて、その人を雇用します。

■健康長寿課

健康長寿祭事業
775万5千円

委員 前年度比較21万1千円の減額理由は。

理事者 参加者の減少による弁当代等の減額です。

委員 健康長寿祭を見直す考えはあるのか。

理事者 現在1千人を超える参加者のある催しとなっており、予算上は参加者1千人以上を計上しています。

各地区で行うことに



放課後子どもクラブ

委員 どこを改修するのか。

理事者 新郷子どもクラブが本荘子どもクラブと統合することによって、遊戯室を子どもクラブの教室として利用するための空調取り付け費です。

■子育て支援課

放課後子どもプラン
推進事業に係る工事
請負費
113万1千円

委員 どこを改修するのか。



捕獲されたイノシシ

■農林水産課

鳥獣害防止
総合対策事業
753万3千円

委員 昨年の委員会で「イノシシ対策の金網固定柵修繕費について検討する」とのことであったが、当初予算に計上されていない。補正に計上するのか。

理事者 固定柵の修繕について、期待に沿えませんでした。なお、今年は熊坂区をモデル地区として、固定柵の調査をした結果、25力所の抜け穴が確認されました。固定柵の修繕に対して支援する必要がある、前向きに検討したいと考えています。

市政について問う!

3月の定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



質 問 席



■森 之嗣 議員

- 市民投票の結果を踏まえた芦原温泉駅周辺整備について
- 新幹線駅のデザインコンセプトについて



■吉田 太一 議員

- 人口減少対策について
- HEECE構想について



■八木 秀雄 議員

- 農業全般の後継者不足(担い手)対策について
- 芦原小学校通学路(市道田中々舟津線)の交通量削減の対策について



■仁佐 一三 議員

- 健康長寿祭の見直しを



■平野 時夫 議員

- 無電柱化推進について
- 空き家の活用について



■山川 知一郎 議員

- 芦原温泉駅周辺整備について
- 空き家対策について
- 国保税の引き下げを



■山本 篤 議員

- デマンド交通と二次交通について
- 創作の森について
- セントピアあわらと指定管理制度について



■卯目 ひろみ 議員

- 要支援1、2に対する新しい地域支援事業について



■毛利 純雄 議員

- 高齢者対策について

ふれあいスポット事業に係る委託料 100万円

委員 ヤギのレンタル料及び柵の整備費を含めた金額か。
理事者 まちづくりにかすため、ヤギに親しんでもらう取り組みを始めています。

畜産試験場からヤギをレンタルするのは無料ですが、柵の整備やエサの購入及びイベント会場への運搬等を含めた金額です。



■観光商工課

観光推進事業 7千667万1千円

委員 予算が適正に執行されているのであれば良

いが、予算規模が大きい
ため、更なる適正な事業
実施を求める。

■建設課



北潟湖畔公園

北潟湖畔公園に係る経費 1千595万5千円

委員 遊歩道や花壇の土留めが崩れている。どこが所管か。
理事者 三国土木が管理するところです。

委員 北潟湖畔公園は国体の会場にもなっている。三国土木と協議し、改修するよう求める。

■新幹線推進課

花のまちづくり事業 112万1千円

委員 本事業はあわらし市のイメージを良くする事業であり、継続してほしいと願うが、どう考えているのか。
理事者 本事業はボランティア活動で植え替え作業等を実施しています。

平成29年度以降も限られた予算内で、JR芦原温泉駅前及び湯のまち駅前を綺麗な状態で花を保持、支援していきたいと考えています。



植え替え作業の様子

平成29年度 国民健康保険特別会計予算

委員 保険給付費における退職分6千901万円について、前年度比較5千420万円の減額理由は何か。
理事者 退職医療制度が平成26年度に廃止されたので、新たに60歳で退職しても適用されず、一般被保険者として加入することになるので減額しました。

平成29年度 あわらし市農業集落排水事業会計予算

委員 平成29年11月から剱岳地区が公共下水道に接続することであるが、その償還金はどうなるのか。
理事者 各関係機関と協議中ですが、処理場の廃止に伴い、公共性の高い跡地利用をすることで、補助金を返還しないよう

進めています。なお、減価償却については、公共下水道で引き継ぐことができるということです。

また、残債についても、未だ正式な回答はありませんが、おそらく補助金返還がなければ、そのまま償還し続けることになるのではないかと考えています。

平成29年度 芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算

委員 損益分岐点はどれくらいの給水量か。
理事者 平成29年度予算における給水量117万m³あたりが分岐点です。

あわらし市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

委員 農業委員及び推進委員の報酬に加算される

活動内容に応じた報酬とは何か。
理事者 当委員が農地の集積や認定農業者の人・農地プラン策定等に係る説明会や打ち合わせ等を行った場合に日報を提出してもらい、それに応じて報酬を支払います。

市道路線の認定変更

委員 3月末で廃止する舟津1号踏切は、その時点で誰も通らないように何か対策するのか。
理事者 現在は警報機のみが付いており、それも3月末で撤去します。管理者として、ガードレールの即日設置を予定しています。



舟津1号踏切

森 乙嗣 議員



市民投票の結果を踏 まえた芦原温泉駅周 辺整備について

森 昨年11月27日に、芦原温泉駅周辺将来デザイン市民投票が行われた。新年度から、このデザインを現実のものとする作業に入るかと思う。市民投票で採用されたイメージをどう反映させていくのか。



芦原温泉駅周辺将来デザイン市民投票

市長 具体的な整備案を平成29年度に策定したいと考えています。

作業を進めるにあたり、伊藤氏に引き続き関わってもらい、ほかの2人のデザイナーについてもアドバイスをもらいたいと考えています。

森 平成29年に策定を考えている具体案に市民の意見をどう取り入れていくのか。

市長 これまでも駅周辺のデザインを検討し、市民投票の運営などにも関わってもらった「芦原温泉駅まちづくりデザイン部会」のメンバーを中心に、幅広く反映させていきたいと考えています。

新幹線のデザイン コンセプトについて

森 昨年末、新幹線駅のデザインコンセプトを鉄道運輸機構に提出した。このデザインコンセプトは、あわら市のブランド戦略の一環と理解す

る。このコンセプトは、駅だけを視野に入れたものか。

市長 デザインコンセプトに関しては、新幹線駅舎を対象としたものですが、あわら市のブランドコンセプトと整合を図ったものとなります。

したがって、駅前広場や東西自由通路等についてもトータルデザインとして整合性を図った上で、景観やデザイン等を決定していきたいと考えています。

森 機構から駅のデザイン3案が示され、その中から1案に絞るということだが、どういう手続きで進める予定か。昨年行った市民投票のように、市民に意見を聴くことは考えているのか。

市長 市のホームページや広報紙等により広く周知し、市民の皆さんから意見をもらいながら決定していきたいと考えています。

芦原小学校通学路 (市道田中々舟津線)の 交通量削減の対策 について

八木 県道三国金津線が完成すると、旧金津町等方面へ自動車通勤する方は、市道芦原三国線から芦原小学校前の通学路(市道田中々舟津線)を通るようになり、交通量が増えることは間違いなく、通学路の交通量を削減する具体的な方法はあのか。

八木 県道三国金津線が完成すると、旧金津町等方面へ自動車通勤する方は、市道芦原三国線から芦原小学校前の通学路(市道田中々舟津線)を通るようになり、交通量が増えることは間違いなく、通学路の交通量を削減する具体的な方法はあのか。

市民福祉部理事 通過交通を円滑にするための案内標識の設置のほか、電車やバス等の公共交通機関の利用をさらに促進することが効果的であると考えています。

なお、この道路は、自動車の規制速度が30キロであり、歩道も整備されていますので、子どもの安全対策は確保されているものと考えています。

吉田 太一 議員



人口減少対策について

吉田 あわら市の人口推移と将来の予想は、人口減少をストップさせるための政策は何か。

総務部長 平成16年3月の人口は3万1千727人でしたが、以後国勢調査人口では27年が2万8千729人と5年ごとに1千人余りが減少し、将来人口では25年後には2万1千39人と予想しています。一昨年策定した「あわら市まち・ひと・しごと総合戦略」に掲げる各施策の効果もあつて、それまで毎年100人以上で推移していた社会減が、27年度は25人と大幅に減少しました。今後も効果検証を行いなが

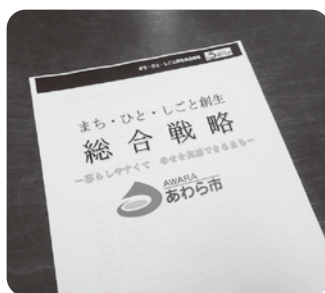
ら推進していきます。

FWOCE構想 について

吉田 出産及び育児環境について、あわら市に産産ができる病院がないことをどう考えるか。また、出産祝い金を出す考えはないか。

市民福祉部長 近隣の市町における分娩可能な医療機関は、坂井市2カ所、福井市8カ所、永平寺町1カ所、石川県加賀市1カ所の合計12カ所がありますが、いずれも30分から1時間程度で到達することが可能となっています。また、出産祝い金について、1市6町において対象や金額、名称は異なるものの、出産や出産準備に対する現金給付が行われています。市としては総合振興計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく、中・長期的な視点に立ち、より効果的な人口減少対策及び少子化対策に取り組むことが重要であると捉えており、現時点では出産祝い金を導入する考えはありません。

吉田 出産祝い金を導入する考えがないことに残念でならない。少子化対策に積極的な地域ほど実施している。出産祝い金、育児一時金など税金を投入し、この世代を増やすことによってあわら市が活性化します。子育て世代が一番お金を消費する。市内でお金を使ってもらえば、商店が活性化し税収も増える。人口が増えれば食料の消費も増え、農業にも良い影響を生んでいくと思う。是非とも前向きに検討してほしい。



あれば事業の存続も困難になると危惧しています。

仁佐 開催経費は約700万円と聞いているがいかがか。

市民福祉部長 開催経費は754万円で、福井県後期高齢者医療広域連合からの助成金490万円余りを充当し、市負担額は約260万円となっています。

仁佐 提案だが、公民館や小学校など、区域割りでの開催に切り替える時に来ているのではないのか。地区で開催すれば、より地域に密着し、参加者も大きく増え、経費もかなり削減できるのではないか。

市民福祉部長 区域で開催する際に市が主催するのではなく、地域が主体となつての開催を前提にしているところだ。

仁佐 一つの事例を取り上げる。60歳以上が対



健康長寿祭

象の会員制の団体が催しているふれあいお楽しみ会だが、内容は講演会、演奏会、地域の名人歌謡ショー、お楽しみ抽選会など多彩な催しで1日を楽しく過ごしていただいている。このような事例を参考にして企画してはどうか。

市民福祉部長 より多くの参加者が得られるよう対象者のニーズや安全確保の送り方法など総合的に勘案しながら継続する事とし、並びに地区開催における助成金の在り方を含め、今後の健康長寿祭の在り方の協議を進めたく、2、3年を目途に結論を出したいです。

農業全般の後継者 不足(担い手)対策 について

八木 あわら市は農地保全の対策として、どのような方策を行なっているのか。また、その成果はどうか。



八木 秀雄 議員

経済産業部長 水田

地帯では、法人組織を中心に農地の集積を図ることにより、地域での営農を推進しています。併せて、協力の交付や、地域における農道や水路などの施設や農地の保全を支援しています。

農地集積などの成果と今後の目標値について、現在の利用権設定状況は、率にして47.3%であり、県内でもトップクラスとなっています。

八木 就農者、就農定住者促進のための研修は行われているのか。

あわら市独自の農業担い手育成のための総合研修所を作っています。

経済産業部長 あわら市認定農業者会において、研修会や意見交換会を開催し、新規就農者や企業の農業従事者については、福井県園芸カレッジにおいて、実技と研修が行われています。

八木 農業に興味や関心を持つってもらう為に児童から高校生までの方、一般の方などのような事業や体験学習が行われているのか。

経済産業部長 小学校では社会科の副読本「私たちのあわら市」に地域の特色や特産物などが掲載されており、本市の農業についても学習しています。さらに、各地域の農地や施設などを見学する校外学習なども行われています。

平野 時夫 議員



無電柱化推進

について

平野 無電柱化事業について、どのような認識をもっているか。

土木部長 景観形成の向上、歩道通行帯の確保、災害時の電柱倒壊の回避などがあると考えます。

平野 無電柱化推進計画を策定する考えはないか。



県道芦原温泉停車場線

土木部長 県道芦原温泉停車場線と西口広場に隣接している市道105号線において、景観整備の一つのメニューとして計画しているところ

で、各関係機関での合意形成を終えており、今後手続を進めていくことになりました。

平野 通学路の安全確保に向けた無電柱化の中・長期的計画を策定する考えはないか。

土木部長 多額の費用を含め多くの課題があり、一般的な通学路における安全確保のための無電柱化については困難であると考えています。

空き家の活用について

平野 新たな住宅セーフティネット制度のもとで市はどのように取り組むのか。

土木部長 県や関係部署と連携を取りながら制度運用について検討していきたいと考えています。

平野 将来、市営住宅建設計画を立てる予定はあるか。

土木部長 賃貸住宅は数多く建設され、供給過多の状態にあると認識しており、新たな市営住宅建設は考えていませんが、今後内部改修等の工事を計画的に進めていきたいと考えています。

平野 災害時での住宅確保要配慮者にはどのように対応するのか。

土木部長 「あわらし地域防災計画」では、応急仮設住宅を設置し、救護措置を講じることになりますが、原則、市が行い、大災害が発生した場合には県が建設することとなります。また、県及び近隣市町に対し、住宅の斡旋などを要請します。さらに、空き家調査データを基にした空き家の利活用によって、被災者の住宅確保に万全を期したいと考えています。

山川 知一郎 議員



芦原温泉駅周辺整備

について

山川 昨年末JR駅周辺整備の将来デザインとして、「100畳の座敷」が発表されたが、市民の意向を反映したものの疑問である。市長自身「これは将来デザインなので、現実にそのままの姿が出来上がるものではない」と述べており、具体的に何がどうなるのかわからない。

市長 将来デザインについて、市民の意向は反映されたものと考えています。29年度から、デザイン

ナーの助言ももらいながら、計画の具体化を進めることにしています。

議員提案の複合施設についても、施設の配置等を具体化していく中で課題と考えています。

空き家対策、スピード感をもって

山川 市内の空き家はどれだけあるか。また、解体や売却、賃貸等、所有者の意向が明確になっているものはどれだけか。

対策の窓口を明確にし、スピード感を持ってやるべきではないか。

市民福祉部理事 現在把握している市内の空き家は611件で、調査の



空き家の例

結果、売却35件、賃貸20件、解体30件、考えていない131件となっています。

空き家対策は、生活環境課が総合窓口となり、「あわらし市空き家等対策計画」の策定を進めており、次年度以降、本格実施に移したいと考えています。

国保税1万円の引き下げを

山川 あわらし市の国保税は一人当たり9万9千768円と、県内で2番目に高いものとなっている。県内の多くの自治体は、一般会計から国保会計へ法定外の繰り入れを行って国保税を低く抑えている。あわらしも繰り入れを行って、1世帯1万円引き下げのべきではないか。

市民福祉部長 法定外の繰り入れについては市民の理解が得られないと考えています。

山本 篤 議員



デマンド交通と二次交通について

山本 デマンド交通の利用状況と経費はどのようになっているのか。

市民福祉部理事 平成23年度における「コミュニティバス」と比較して、1千800万円の経費を削減しています。また、年間の利用者についても、27年度には3万人を超え、6千人近く上回っています。

山本 村部と市中央部を結ぶという点を考え、午後5時以降の利用や、足の不自由な方への配慮が必要なのではないか。

市民福祉部理事 引き続き、地域や利用者の実情に配慮しながら、満足

山本 インバウンド観光を進めていくためにも、交通の便の確保が必要ではないか。

経済産業部長 国の地方創生推進交付金の採択を受け、平成32年度までの5年間を事業期間として、構成市町と民間企業が連携し、受け入れ体制の整備と誘客戦略の策定を進めています。

29年度においてはエリア内の2次交通整備の中期計画策定等にも取り組む予定で、現行の2次交通について精査し、より効率的なダイヤ設定、交通事業者など関係機関の調整等について進めたいと考えています。

創作の森について

山本 来館者、利用者が減っているのではないか。

教育部長 入場者数は、蜷川実花展があった25年度は22万9千人で、26年度、27年度は12万人前後で推移しています。

山本 入居作家の高齢化も進んでいるが、今後すべきことは何と考えるか。

教育部長 若い芸術家に入居していただきたいと思っており、入居リスクを伴わない仕組みづくりが必要であり、若い芸術家の入居で、森が活気づき、市全体の文化振興が図られ、観光面との連携も活発化するものと考えています。

セントピアあわらし指定管理制度について

山本 セントピアあわらしの必要性をどう思っているか。

経済産業部長 温泉街の賑わい創出に必要な観光資源の一つであり、また、市民の憩いの場としても定着している重要な温泉文化施設であると考えています。

卯目 ひろみ 議員



要支援1・2に対する新しい地域支援事業について

卯目 介護サービス事業の中で行われている要支援1・2へのサービスが、この4月から市が行うことになる。これまでどこがどう変わるのか。なぜ、そうなるのか。

市民福祉部長 今回の改正点は2025年に向け、高齢化が急速に進むことを見据え、地域全体で支えていくことというものです。あわらし市には、1月現在303人の要支援1・2の方がいます。新総合事業として、ホームヘルプサービスとデイサービスが大きく変更さ

れます。地域の実情に合わせて効果的かつ効率的に細分化されたサービスとなります。身体介助等の専門的なものはこれまで通りで、介護予防に重点をおいた簡易型のサービスは行政区、老人会、生活介護支援サポーター、シルバー人材センター、NPOなど、住民が主体となった組織が受け皿となります。

卯目 地域で支えるというものの、浸透はまだどのように思えるかがか。

市民福祉部長 その通りで、これから早急に



体制を整えていかなければなりません。取り組みとしては、区民館、公民館、老人センター、保健センターを活用して、健康体操、認知症予防教室、サロン事業などを実施しています。

卯目 高齢者が気楽に、ちよつと集まれる場が必要ではないか。

市民福祉部長 高齢者の独り暮らし、引きこもりなどが今後は増えてくると思うので、外出を積極的に促し、地域における通いの場、集いの場が多く作られるよう努力していきます。



毛利 純雄 議員

高齢者対策について

毛利 あわらし市地域包括支援センターとして、今日までケアシステムの構築に向け色々事業を進めてきたが、それが市民に理解されているのか。それにより地域、或いは個別的にでも何らかの形が出来ているのか。今後、どのように進めていくのか。

一方で、地域における高齢者のサポート体制づくりといった制度に足りない部分について、例えば、地域が主体となつてサロンを開催しているのは、準備段階を含めて8地区があり、市として助成を行っています。

今後の進め方について、介護予防・日常生活支援総合事業において、より介護予防に力点を置いた事業を行っていくこととなります。

市民福祉部長 地域包括ケアシステムの公的な部分について、広報紙等でも広く周知しており、市の窓口となる地域包括支援センターの役割についても、市民には浸透していると考えています。

毛利 乗り合いタクシーの発着地は停留所から停留所までとなっているが、高齢者の中には、足が不自由な方、人工透析を受けている方など、バス停まで行くことが大変な方が多い。そういう方たちだけでも発着地を自宅から目的施設まで（ドアtoドア）にできないか。

市民福祉部長 運行形態をドアtoドアへと変更することは、困難であると考えます。しかしながら、人工透析を受けている方に対しては、距離に応じた補助を行っています。また、福祉タクシーについて、運転免許証を持たない重度の身体障害者の方、療育手帳を持っている方を対象に助成しています。



議員会 激励金・協賛金一覧

あわらし議会議員会は、青少年の育成を目的に、小中学生がスポーツ等で全国大会に出場した場合、内規に基づき激励金を支出しています。また、地域の活性化を図る観点から、各種協賛金も支出しています。平成28年度の激励金・協賛金一覧を掲載します。



8月9日 壮行会
(単位:円)

月	激励金・協賛金の内容	金額
4月	緑の募金	9,000
5月	熊本地震義援金	100,000
6月	金津祭PRポスター作製補助金	100,000
	金津創作の森友の会年会費	36,000
7月	金津中学校サマーコンサート協賛金	10,000
	芦原中学校文化部サマーコンサート協賛金	10,000
	あわらし市文化協議会賛助会員会費	18,000
	あわらし市日中友好協会会費	18,000
	高野山旗全国学童軟式野球大会出場激励(団体1チーム)	30,000
	全日本少年少女空手道選手権大会出場激励(2人)	10,000
	あわらし市社会福祉協議会特別会費	36,000
8月	バーモントカップ全日本少年フットサル大会出場激励(団体1チーム)	30,000
	あわらし北潟湖畔親月の夕べ協賛金	100,000
	全日本中学生男女ソフトボール大会出場激励(団体1チーム)	30,000
	全国中学校新体操選手権大会出場激励(団体1チーム)	20,000
	全国中学校バドミントン大会出場激励(1人)	5,000
10月	NHK杯全国中学校放送コンテスト出場激励(1人)	5,000
	赤い羽根共同募金	54,000
2月	都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会出場激励(1人)	5,000
3月	ヤングリーグ春季大会出場激励(1人)	5,000
	小中学生競技かるた選手権大会出場激励(2人)	10,000
合計		641,000

請願・陳情 意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわらし市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●あわらし市議会議員定数の削減に関する陳情

「要旨」

市議会の議員定数を現在の18名から14名に削減することを求める。

「理由」

①あわらし市の人口減少、少子高齢化の進展は、税収が減少して、行政経費が増大する構図になる。あわらし市行政のスリム化と効率向上は急務である。今、市民を代表する議会が先駆けてスリム化を図り、それを先導する必要がある。

②あわらし市議会は政務活動費がないが、透明性を確保した適切な使用方法を確立して、定数削減で減額される議員報酬分で、必要な政務活動費を確保する。

③あわらし市議会議員が他の都市の議会や議員と交流を増し、大いに知見を蓄え、行政のチェック機能を果たすと共に、市政変革への提言や立案能力の向上をはかる必要がある。少数精鋭で市政に専念できる、質の高い議員の確保を目指す必要がある。

「提出者」 細呂木地区区長 会長 浅井 正治

●参議院選挙における合区の解消に関する意見書

「要旨」

人口によって単純に区割りする合区は、人口の少ない地方の切り捨てにつながり、地方創生にも逆行するものである。速やかに合区を解消し、人口の多寡にかかわらず、地方の多様な意見を確実に国政に反映することのできる地方創生にふさわしい仕組みを構築することを強く要望する。

「結果」 国へ意見書を提出

討論 平成29年度一般会計予算について



セントピアあわらし管理経費6千349万5千円のうち3千60万円は指定管理者への指定管理委託料である。

セントピアあわらし開設当時に管理・運営を行っていた旧セントピア財団が解散し、指定管理制度を導入して、最初の指定管理者としてあわらし市観光協会が指定された。その際に旧セントピア財団の職員は、そのままセントピアあわらしの管理・運営に携わっていた。その後、あわらし市が指定管理者を公募し、現在の指定管理者となったが、その管理業務仕様書には、当該職員を継続雇用することが明記されている。しかしながら、今年度、最後の一人も辞めることとなった。

この旧セントピア財団で一生懸命働いていた職員は、行政によって整理され、人生を変更せざるを得なかったと思っている。その職員の身になり、また、職員の家族の気持ちを考えると、公共施設であるセントピアあわらしの指定管理制度導入は、全くの失政であったと考える。

セントピアあわらしだけでなく、本予算には、複数の公共施設の指定管理料が含まれ、その運営に指導や調査がなされていないことは無責任である。

平成29年3月 第86回あわらし議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成　X…反対　―…欠席等 ※議長（坪田正武）は採決に加わらないので「／」で表示		議決結果	仁 佐 一 三	山 本 篤	平 野 時 夫	毛 利 純 雄	吉 田 太 一	森 之 嗣	杉 本 隆 洋	山 田 重 喜	三 上 薫	八 木 秀 雄	笹 原 幸 信	山 川 知 一 郎	北 島 登	向 山 信 博	坪 田 正 武	卯 目 ひろ み	山 川 豊	杉 田 剛
市	専決処分の承認を求めることについて （平成28年度あわら市一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成28年度あわら市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成28年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成28年度あわら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成28年度あわら市水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成28年度あわら市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成28年度あわら市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成28年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成29年度あわら市一般会計予算	可決	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	○	／	○	○	○
	平成29年度あわら市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	○	／	○	○	○
長	平成29年度あわら市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成29年度あわら市農業者労働災害共済特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成29年度あわら市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
提	平成29年度あわら市工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成29年度あわら市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	平成29年度あわら市農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
出	平成29年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	あわら市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
議	あわら市職員の育児休業等に関する条例及びあわら市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	あわら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	あわら市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	○	／	○	○	○
案	あわら市農業集落排水事業条例及びあわら市公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	あわら市老人憩いの家百寿苑条例を廃止する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について（あわら湯のまち広場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について（金津創作の森）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	あわら市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	
市会案	あわら市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
	参議院選挙における合区解消に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○
請願陳情	所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について	継続審査																		
	教職員の働き方の改善に関する陳情	継続審査																		

討論

平成29年度一般会計予算について(続き)

1点目は、子育て支援が強く求められている時代であり、憲法では義務教育は無償と規定されている。学校給食費や中学校のスクールバス利用料は無償にすべきである。

2点目は、セントピアあわらの指定管理者制度について、その決算書が適切なのかを確認できない。こういった状況で指定管理を継続するのはおかしい。

3点目は、自衛隊募集事務交付金2万3千円について、危険な自衛隊派遣を続け、その隊員を募集することはやめるべきである。

4点目は、新幹線推進に関する予算約7億円が計上されている。駅周辺の将来デザインが市民投票で示されたが、具体的にどこをどうするのが明確でない。十分に住民に説明して、理解と納得を得て進めるべきである。

反对

贊成

まず、自衛隊について、「自分の国は自分で守らなければいけない」それが原則である。また、災害があった場合、現場に駆けつけ国民を守るという大事な役割を持っている。

次に、セントピアあわらの指定管理者制度について、これは議会が求めたものであり、議会の意に沿って行政が動いたものと認識している。

贊成

現在、自衛隊員は約24万2千人いるが、自衛隊白書によると、最低でも30万人の隊員が必要とされている。平成28年度において、あわら市内で1人が自衛隊員となったが、非常に少ないと感じ、本当に残念である。自衛隊募集事務交付金は必要なものである。

討論

平成29年度国民健康保険特別会計予算

あわら市の1人当たりの国民健康保険税は、県内9市の中で福井市に次いで2番目に高い額になっており、県内の多くの自治体は、法定外の繰り入れを行い、保険税を低く抑える努力をしている。あわら市の国保税が非常に高いというのは、多くの市民の声である。国保税が高い一番の原因は、国の負担が少ないということは理解している。しかし、本当に市民の安心・安全に応えるためには、法定外繰り入れをし、国保税を引き下げる努力をすべきである。

反对

討論

税条例等の一部を改正する条例の制定について

本議案は、平成31年10月1日に消費税が8%から10%に引き上げられることを前提に上程されたものである。消費税が8%になって以来、国内消費を非常に冷え込ませ、不況を促進した。これをさらに10%に引き上げれば、ますます不況は深刻になる。こういったものを10%に引き上げることは絶対に認められない。

反对